

## 第 5 回 大阪狭山市総合計画審議会 議事概要

開催日時	令和 2 年 11 月 24 日（火）10 時 00 分～12 時 00 分
開催場所	大阪狭山市役所 3F 第一会議室
出席者	上甫木委員、小野委員、溝手委員、菊屋委員、中嶋委員、鈴木委員、内山委員、吾妻委員、上田委員、田中委員、渡邊委員、小松委員、時本委員、中川委員、福田委員
欠席者	地下委員、久委員、久才委員、大西委員、宮下委員
事務局	政策推進部長、政策推進部企画グループ課長、政策推進部企画グループ主査、政策推進部企画グループ会計年度任用職員
傍聴者	4 名
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)審議会としての方向性（案）について</li> <li>(2)重点施策（第 2 期大阪狭山市総合戦略（素案））について</li> </ol> </li> <li>3. その他</li> <li>4. 閉会</li> </ol>
資料	<p>資料 1 第五次大阪狭山市総合計画基本構想・基本計画・各中学校区におけるまちづくりの方向性（地域別計画）（素案）として諮問された事項に対する委員の意見と審議会としての方向性（案）</p> <p>資料 2 第五次大阪狭山市総合計画施策体系（答申案として提示）（案）</p> <p>資料 3 各中学校区におけるまちづくりの方向性（地域別計画）（修正案）</p> <p>資料 4 第 2 期大阪狭山市総合戦略（素案）</p>

<b>議 事 の 経 過</b>	
<b>発言者</b>	<b>発言の内容</b>
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の確認</li> <li>・委員 20 名中 15 名が出席しており、審議会が成立していることを確認。</li> </ul>
会長 事務局 委員	<p><b>2 議事</b></p> <p><b>(1)審議会としての方向性（案）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料説明をお願いします。 (資料説明)</li> <li>・各中学校区のまちづくりの方向性（地域別計画）について、参考資料ということであるが、第五次総合計画（素案）や各中学校区のまちづくりの方向性（地域別計画）（素案）では、「新たに「各中学校区のまちづくりの方向性（地域別計画）」を策定」と書かれているので、表現を変更した方がよいのではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が1つの方向性を見定めながら、行政と協力しながら取り組んでいくため、誤解のないような文章が望ましい。</li> <li>・括弧書きで地域別計画となっており、計画を策定するという意味合いに捉えられるということであると思う。各中学校区のまちづくりの方向性を地域別計画と呼んでいるため、混乱が生じている。言葉遣いの整理を行う必要がある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり円卓会議条例の中で、地域ビジョンに関する規定がある。総合計画の考え方が1つの背景になりながら、中学校区ごとに地域ビジョンを作ってほしいとの考え方を示すことができればよいのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各中学校区のまちづくりの方向性（地域別計画）に関する文言については、総合計画全体を見渡す中で、表現方法等を修正していく。</li> <li>・施策1「子育てにやさしい環境づくり」の進捗状況を見る主な指標で「認定子育てサポーター登録者数」を取り上げているが、行政の取組内容「（1）安心して子どもを産み育てられる環境づくり」の取組を進める上で、認定子育てサポーター登録者数のみを取り上げるだけでよいか。また、文章等でも自治会の役割についても触れてはどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定子育てサポーターの登録は、子育て支援センターが取り組んでおり、指標を図りやすいという点があるが、行政が把握しやすい指標となっている。</li> <li>・コミュニティ・スクールが始まり、市民と学校で子どもを育てることに関わるような取組みが増えていくとなると、指標が認定子育てサポーターだけでよいのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の進捗状況を見る指標が様々ある中で、担当課と協議し、主な指標として「認定子育てサポーター登録者数」を取り上げている。</li> <li>・「認定子育てサポーター登録者数」以外の指標については、個別計画等で進</li> </ul>

副会長	<p>捗状況を管理している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民・事業者の取組内容」で、「保護者が子育てについて、第一義的な責任を担い、安心して子どもを育てられるよう、地域ぐるみで子育て家庭を支えます」と示しており、この地域ぐるみに、自治会等が該当すると理解している。</li> <li>・自治会の皆さまには、地域で子どもを育てていくという点にもご尽力いただいているが、自治会に限らず、子ども会など、地域で活動されている取組みもあるため、表現方法は検討する。</li> <li>・施策2-1「持続可能な行財政運営」の取組内容「(1) 効率的で効果的な行財政運営の推進」の文章に、「機動的で効率的な組織機構の構築を図ります」とあるが、この部分をどうするのか。実現するための行政のあり方が問われてきているのではないかと。問題意識を持っていることを示し、組織のあり方の検討や、推進するための組織の構築等のように、少し踏み込んだ内容を書いてはどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の背景で、スマート自治体研究会等について書かれているが、人材の育成については関連して書かれていない。市役所自体の縦割りの行政水準の見直しについて、触れてはどうか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で支えるというときに、この支える主体が非常に多様化しているという実態を、言葉で表現してはどうか。</li> <li>・施策体系の議論でもあったように、集約化や人員削減に取り組み、効率化を図るという点が出てきている。施策内容をきれいに取りまとめようとしているが、実態は違うという意見である。</li> <li>・「地域ぐるみ」の表現については、自治会だけでなく、他の団体など活動の実態を書いて、行政の運営のところからこれからの検討課題として捉えていくといったような文章にすればよいのではないかと。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前も、同様の意見をいただいている。</li> <li>・資料1の30ページに示しているとおりに、当初、「機能的で効率的な組織機構の構築」としていたが、縦割りでないことを追記するため、「横断的かつ機能的、効率的」に改めたところである。</li> <li>・行政も関わっていく点については、同じく資料1の28ページに示しているとおりに、行政の取組内容「(1) 市民参加(参画)・協働の推進」の文面に、行政も関わっていく文面を示すため、「将来のあるべき姿をともに実現できるよう」を追記したところである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会やまちづくり円卓会議の支援と書かれているが、市民活動を支援するだけでなく、行政として自らどうするかについて書くべきではないかと。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割り行政について、批判的な意見が多かったが、多様な市民や地域ニーズに対応していくためには、縦割りでなく上手く機能させていくことが、正しい方向性ではないかと。</li> <li>・行政による支援については、今後、市の予算や職員数も減少していく中で、小さい政府、自治体を作っていくことになると思うが、行政は旗振り役とし</li> </ul>

委員	<p>て頑張っている市民を支えていく、そのための仕組みを作っていくことが大事である。</p>
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1の22ページの就労支援について、「近隣自治体と連携した取組みを進める」と書いているが、取組内容の中では「南河内地域の近隣自治体」と地域を限定しているが、違った意味合いなのか。</li> <li>・同じ意味合いなので、南河内と表現せず近隣自治体として表現を合わせる。</li> <li>・市税徴収率について、税は行政の中でも権力行使の最たるものであり、100%が当たり前である。100%徴収できないことは承知しているが、100%以外を設定した場合、市民が見たらどう思うのか。滞納してもいいという話になるのではないか。</li> <li>・持続可能な行政運営をめざすのであれば、課税客体をしっかり把握し、調定を上げて、収入を確保することが大事である。</li> <li>・目標としては、100%とするべきである。結果的に、100%とならないのはやむを得ないが、100%に限りなく近づける努力は必要である。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会としては、市税徴収率は進捗状況を見る主な指標として適していないという判断とする。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政のあり方について、施策21の行政の取組内容「(1)効率的で効果的な行財政運営の推進」の1つの項目に入っているため、どうしても行政健全化をめざして、適正な定員管理を認めるといった内容に読み取れる。</li> <li>・表現の問題であるが、市民と行政が一緒になってつくる総合計画のため、この「効率的で効果的な行財政運営の推進」で、この計画を推進するための行政のあり方を示すことにより、これまで議論してきたこととバランスをとることができるのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各中学校区のまちづくりの方向性(地域別計画)について、課題のところから関係施策の例示という形で表現しており、わかりやすくなっている。</li> <li>・ただ、「狭山藩陣屋跡など、歴史文化遺産の知名度を上げることが必要である」の関連施策の例示で、「文化を育み、生涯学べる環境づくり」となっており、地域のにぎわいづくり等ほかの施策にもつながるかと思う。ここで体系が出てしまうと、他の長所や課題をどう施策につなげていくかの議論になりにくいのではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連施策は、市全域で行っている。中学校区内で並べられた関連施策が、必ずしもその中学校区単位だけしか関係しないのか。例えば、近畿大学病院については市全域の課題であるとか、市民参画はすべての中学校区に入っているなどの議論があった。その中で、それぞれの中学校区の長所・課題に対して、関連付けて例示する方が、1つの方向性として、これからの地域を考える検討課題となる。具体的な議論は地域ビジョンで行い、議論していくものだと考えている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連施策の例示として、このような長所・課題に対して関連する施策の一例を提示している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このような形で市民の目に触れることで、この地区はこれに特化してやるの</li> </ul>

会長	か、書いていないものは取り組まないのかと思われてしまう怖さもある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連施策の例示とあるが、確定したものではないという印象をもう少し与える必要があるというとの意見である。</li> <li>・ 各中学校区のまちづくりの方向性（地域別計画）は、まちづくり市民会議で議論した中で「地域主体によるまちづくりの方向性という形で、市と事業者とともに行政が取り組むことなどを取りまとめたものです」と書いているが、全てを網羅したものや限定されるものではないので、方向性として示している。誤解が生じないよう、丁寧に説明をしていきたいと考えている。</li> <li>・ 課題や、関連施策の例示についても具体的な検討は地域ビジョンで広げていただきたいと考え、今回方向性として取りまとめている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな方向性としてはこれでいいと思う。中学校区ごとに、地域の人・物など、それぞれ違う特徴があるので、その特徴を生かした中で、課題も出てくるし、そういう形を基本的に思い描いていけば、方向性としては間違いなく進むのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域別計画ということで、総合計画の中で議論することと、この地域別計画のように自主計画的な、本当に市民からの意見を吸い上げた形の部分との線引きが曖昧なので、もう少し線引きをはっきりさせる方がよいのではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本構想、基本計画は市全域に関わること。施策体系ごとに、具体的な取組みを行うものである。</li> <li>・ 地域の課題としてみたとき、様々な関わりや地域の事情がある中で、地域で取り上げる課題を、各中学校区のまちづくりの方向性で定めている。地域レベルで挙がっている課題に対する具体的な実行計画とは、地域ビジョンの中で考えていくものである。そういう意味では、市全域で行うことと、地域固有の課題に対しどう取り組んでいくかについて、整理ができていないと感じる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民側の目線は、狭山中学校区とか、南中学校区とかそれぐらいの範囲でないと日常生活は把握しにくい、そこが大事な部分である。</li> <li>・ 地域別計画というのは市民主体で作っていく計画であって、総合計画というのは市が主体で作っていく計画、そこをうまく融合させることが大事である。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民に理解いただくために、わかりやすい書きぶりや言葉遣いを検討する必要がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市として方向性を出したので、今度は各地区で地域ビジョンへ落とし込んだものを挙げてくださいなと伝えないといけない。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例で地域ビジョンをつくるというのは明らかになっているので、総合計画できっちりと書き込むとよい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この資料は、地域の皆さんが地域ごとに、これから絵を描いていくたたき台だというニュアンスにすればよいのではないか。</li> </ul>

<p>会長 事務局 委員</p>	<p><b>(2) 重点施策（第2期大阪狭山市総合戦略（素案））について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料説明をお願いします。</li> <li>（資料説明）</li> <li>・まず目標があって、それに対して施策があるような形で示せないのか。例えば、基本目標1であれば、「出産・子育てを支援し若者世代に定住を促す」をめざすために、こういう施策があると横に書いていくと横断も可能だと思う。</li> <li>・縦割りに関する議論も出ており、現在の表だと縦割りのものの目的、目標を分けているだけのような気がして、目標ごとに分けることにより、横断的になるように見えるのではないかと。</li> <li>・横断的な視点の取組みという書き方をしているので、重点取組の中で例えば子育てであれば、子育ての施策に割り振ることだけをしているような気がする。他の分野も関わるような横断的な形も表現ができればよい。</li> <li>・具体的には、基本目標3の「まちの魅力を高めて人を呼び込む」の施策のところでは、みどりの景観、観光の振興で観光客を呼び込むといった都市計画的なところの話が出ています。まちの魅力は、単に景観だけでなく、歴史・文化なども含まれてくるのではないかと。大阪狭山市の魅力をどのように発信していくのかを考えるのであれば、そのような分野も入ってくるのではないかと。</li> </ul>
<p>会長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標、重点取組の次に具体的な施策があれば、総合戦略の施策体系がわかり、また、総合計画とのつながりもわかる。総合計画から見た関係性をマトリクスで表示するとわかりやすくなるが、かなり複雑な表となるので、別に表現した方がよいのではないかと。</li> <li>・9ページ以降で、例えば「①出産・子育ての支援」の主な取組内容で、第五次総合計画の施策の大綱1の施策1と書いてあり、ここの内容を全部一覧表にまとめるとわかりにくいのではないかと。</li> <li>・7ページの施策体系に枝付けしていく部分については、9ページ以降の基本目標ごとに書いていくと理解している。8ページの総合計画と関連で、総合計画側から見た総合戦略との関係性を知ることができるので、この表があってもよいのではないかと。</li> </ul>
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目次のようなものがあれば、わかりやすい。</li> <li>・指摘いただいた総合計画から見た総合戦略の位置付けと、総合戦略から見た総合計画の位置付けについては、一度関係性を表に整理する。あまり複雑になるようであれば、改めて検討する。</li> </ul>
<p>副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口ビジョンについて、人口の将来展望で、合計特殊出生率が書いてあり、2030年は2.07となっている。日本全体では1.3や1.4にいかないぐらいだと思うが、大阪狭山市ではどのぐらいの数値なのか。</li> <li>・合計特殊出生率を2.07まで上げるには、様々な取組みをしていく必要がある。仮に、取り組んだとしてもこの推計値でいくと開きがかなりある。例えば、2065年の推計値が市の人口ビジョンだと4万9,000人、社人研準拠だと4万500人ということで、9,000人ぐらいの差がある。</li> </ul>

	<p>どこまでデータを出すかだが、高齢化のピークを迎える 2040 年頃はどうか。もしくは、現実的なところとの差を少し考えながら、あまり長期に考え過ぎないほうが現実的なことを考えられるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 ページの基本目標 1 の重点取組を行うことで、出生率を高められるのかが問われる。K P I で「子育てサポーターの登録者数」、「保育所待機児童数」を取り上げているが、出生率を高めていくのであれば出生数の指標の方がよいのではないか。</li> <li>・ 1 5 ページの基本目標 3 について、大阪狭山市の場合、転入数はかなりいい形でできているので、さきほどの人口ビジョンのことを考えていくのであれば、K P I は市民のみどりに対する満足度等だけでなく、実際の転入者数や転出入者の差を指標にしてはどうか。人口ビジョンの出し方が、かなり現実的なものとは外れてきてしまうと思うので、この示し方は少し考えたほうがよいのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合計特出生率について、平成 2 5 年から平成 2 9 年の 5 年間では、全国で 1. 5 3、大阪府では 1. 3 7、大阪狭山市では 1. 4 である。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合計特殊出生率 2. 0 7 をめざすことは、努力しても困難な数字である。本当にめざすのかは重要なポイントとなる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 年前に人口ビジョンを策定した際に、2 0 6 0 年の長期的なビジョンとして提示している。今回は更新版として、2 0 6 5 年まで提示している。国や府の人口ビジョンに即して、府内の市町村も同じような形で示しているので、2 0 6 5 年まで示していきたいと考えている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策の関係でいくと、子どもの数、高齢者の数等の属性別に人口推計値が出せれば非常に面白いかと思うが、可能なのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の人口ビジョンでは、年少人口、生産年齢人口、老年人口の比率の推移と将来展望を示している。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、5 年や 10 年の、年齢別の動きがどうなるかわかると子育て等の施策の目標数値の検討材料になるのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体に係ることだが、例えば、1 1 ページの K P I で「民設民営放課後児童会の受入児童数」や「学校園の授業等への外部人材参加者数」など目標値として数字だけが出てくるが、実態がどうなのかがよく分からない。</li> <li>・ 1 4 ページには、「管理不全な空き家の減少数」とあり、令和 7 年度の目標値が 5 戸とあるが、まず、市内の空き家数の実態がどうなっているか示さないと、空き家の減少数の数値が正しいのか分からない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家の減少数であれば、ある取組みを行うことで 5 戸減らす方向であるというような示し方をしないといけない。数字は一人歩きする。指標を出すのであれば、実現が難しいものではなく、書ける分は簡単に書いてはどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指摘いただいたように、指標は検討し再考のうえ見直していく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 期の国の総合戦略で「地方創生のより一層の充実・強化に取り組んでいくこととされました」と書いてあるが、それを受けて、大阪狭山市としては、新しい地方創生の具体的な中身をどう考えているか、ここでも重点目標は掲</li> </ul>

事務局	<p>げているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合戦略の取組みがこの5年間で達成できたかという点、まだ道半ばである。そういった意味では、第1期総合戦略に掲げた基本目標を踏襲しながら、引き続き取組みを続けたいと考えている。ただ、これ以外にも様々な施策を検討していかなければならないので、実施計画で示していきたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の施策に基づいてではなく、市としてどういう位置付けにしているのか、総合戦略の役割を市民向けに分かりやすく発信する言葉を入れてはどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13ページに「第1期総合戦略の検証と今後の展望」を示し、振り返りをしている。市としても、これまでの取組状況と成果を踏まえて、引き続き推進していくということを示している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13ページのKPIに「相談支援事業の延べ利用人数」とあるが、障がい者の社会参加についての相談支援事業という意味合いなのか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直す必要がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横断的視点Ⅱ「(2) 地域における Society5.0 の推進」の中で、「未来技術をまち・ひと・しごとのあらゆる分野において積極的に活用することで、市の課題解決に努め、市民生活の利便性向上を図ります」とあるが、大阪狭山市としてはどういうビジョンを持っているのか。</li> <li>・18ページの重点取組「②若者や女性などへの就労支援」の主な取組内容でテレワークについて示しているが、これによって人を寄せ、住みやすいまちをめざす計画を、大阪狭山市が立てるつもりがあるのか、庁内で検討しているのか興味がある。</li> <li>・大阪狭山市は、1時間もすれば都心（市内）に出られる位置にあり、有利である。例えば、新規に建てる建物や空き家の問題についても、連携して考えていけるようなことを大阪狭山市が考えているのか興味がある。</li> <li>・行政のデジタル化も含め、Society5.0などの視点も取り入れながら、取り組んでいかなければならないということで、今回お示ししている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合戦略は、総合計画から移行しただけのような内容になっているので、もう一步踏み込んだような内容を少しずつでも追加するか、最終的にまとめる「横断的視点の取組み」で少し深めるか工夫してもらえるとうれしい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想、基本計画のあとに、各原課で実施計画を行うと思うので、特にこの5年間で重点的に取り組むものについては、戦略のほうにも反映してはどうか。</li> <li>・横断的な話について、これまで議論があったので、戦略的なことを書き込んでもらえるとうい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12ページの重点取組①「地域コミュニティの強化による安全・安心のまちづくり」の主な取組内容で、「情報発信など、関係団体等と連携しながら、市民と行政の協働による地域づくりを進めます」と書いているが、他人ごとのような書き方になっている。行政としての事業の中身の見直し等も取り組まないと機能しないので、総合計画を1段落として実際に動くのにどのような戦略があれば良いか踏み込んで書いた方がよい。</li> </ul>

